

達成度：R7.3.31の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## くらし安全協働課の目標（令和6年度）自己評価書

くらし安全協働課長 草野 浩志

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 防犯事業</p> <p>防犯ボックスセーフティアドバイザーを中心に、引き続き自治会や防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールをはじめ、街頭監視活動及び児童の下校時間帯、夜間の帰宅時間帯における見守り活動を実施します。また、佐倉警察署及び佐倉防犯組合連合会と連携を図り、集客力のある駅周辺において、防犯啓発キャンペーンを実施します。</p> <p>さらに、青色防犯パトロールカーを活用した町内全域のパトロールを行い、地域の防犯力の向上に努めます。</p>	4	<p>防犯ボックス事業については、地域の見守り活動や勤務員と自主防犯団体（地域住民）との合同防犯パトロール活動を通じて、より多くの住民に防犯意識の高揚を図ることを目的としています。これにより、ボランティア団体や各自治会など16団体、656名の参加によって、102回の合同パトロールを実施しました。</p> <p>また、防犯ボックス勤務員による街頭監視や、下校時間帯・帰宅時間帯における児童や女性の見守り、青色防犯パトロールカーを活用した町内全域のパトロールなどの活動を行い、地域の防犯力の向上に努めました。</p> <p>さらに、自治会等への防犯カメラ設置に係る経費の補助を実施し、各自治会等に出向いて「防犯・交通安全出前講座」を5回開催して、自主防犯意識の高揚を図りました。</p>
<p>2 交通安全事業</p> <p>佐倉警察署及び佐倉交通安全協会酒々井支部と連携を図り、小学校における交通安全教室の開催などを通じて、子どもたちへの交通安全教育の推進を図るとともに、各交通安全運動期間中における街頭監視や街頭キャンペーンの実施など、啓発活動を実施し交通安全意識の高揚を図ります。</p> <p>また、特に通学路などの危険な道路箇所については、関係機関と必要性等を調査し、</p>	4	<p>交通安全事業については、児童等への交通安全教育の推進として、小学校2校及び昭苑こども園において交通安全教室を開催しました。</p> <p>また、佐倉警察署及び佐倉交通安全協会酒々井支部と連携し、各交通安全運動期間中に街頭監視や集客のあるスーパー店舗前において啓発キャンペーンを実施し、交通安全</p>

<p>注意喚起看板等を設置するなど、交通事故の未然防止に努めます。</p> <p>3 防災事業  災害発生時に備え、災害対策本部の機能強化を図るための災害対策本部設置訓練の実施、また、各指定避難所における避難所開設・運営訓練を実施し、町の防災体制を強化するとともに、職員の防災意識の向上に努めます。  さらに、自主防災組織や自治会などに出向いて、ぼうさい出前講座を開催し、地域の防災力の向上に努めます。</p> <p>4 消防団事業  就業形態の変化や少子高齢化の進展などにより、消防団の担い手が減少していることから、イベント等において、消防団活動のPRを行い、消防団員の確保に努めます。  また、火災をはじめとする災害活動に備え、佐倉市八街市酒々井町消防組合と連携した各種訓練を実施し、消防技術の向上に努めます。</p> <p>5 住民活動団体の支援  地域の活性化や課題等に取組むための、住民団体等の自由で自発的な公益活動に対する住民公益活動補助金の交付や、下宿ベースの円滑な管理運営により、住民活動団体の活</p>	<p>思想の向上と交通事故の未然防止に努めました。  さらに、町民の自転車乗車用ヘルメットの着用促進を図るため、ヘルメット購入費への補助を実施しました。</p> <p>4  防災事業については、災害発生時に備え、災害対策本部の機能強化を図るための災害対策本部設置訓練及び、職員の災害対応力の向上に努めることを目的に、町内7箇所の指定避難所における避難所開設・運営訓練を実施し、開設要領の定着に必要な成果を収めることができました。  さらに、防災ボランティア団体、各自治会に出向いて、「ぼうさい出前講座」を9回開催し、地域の防災力の向上を図りました。</p> <p>4  消防団事業については、消防団員が減少する中で、広報紙や各自治会への回覧を通じて団員の確保対策に努めました。消防団のPR活動として、ふるさとまつりにおいて消防車乗車体験を実施しました。  また、火災などの災害活動に備え、佐倉市八街市酒々井町消防組合と連携し、中継放水訓練や機械器具の一斉点検を実施しました。これにより、機械器具に対する知識や技術の向上を図りました。  さらに、消防団員の知識と技術を習得するために、新たに救急講習会及びチェーンソー講習会を実施しました。</p> <p>3  ・住民公益活動補助金については1団体から申請がありましたが、審査委員による審査結果をもとに過去実績と同様であるため不採択となりました。申請数の減少など補助金</p>
--	---

<p>性化を図るとともに、一般サークル等の活動の場を提供することで町民同士の交流や連携の強化を図ります。</p> <p>また、住民と行政の協働活動として、公園等愛護活動推進事業や資材等支給事業、花いっぱい運動を支援します。</p> <p>6 住みよい地域づくりの推進</p> <p>もっとも身近な住民組織の自治会等と行政は、地域住民の住みよい環境をつくるという目的を共有しており、自治会等の運営について支援します。</p> <p>また、地域担当員が自治会等との連携が図れるよう支援します。</p> <p>7 高齢者・団塊世代の生きがい就業支援</p> <p>高齢者や団塊の世代の社会参加と生きがい就労を目的とした「酒々井町シルバー人材センター」の運営を支援します。</p> <p>8 男女共同参画社会形成の促進</p> <p>男女共同参画社会形成についての理解を深めるため、県から委嘱される地域推進員と協力して啓発事業や情報提供を行い、男女共同参画社会形成への意識を高めていきます。</p>	<p>のあり方について検討を要します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下宿ベースを活用していただく住民活動団体が限られており、利活用方法の検討を要します。</li> <li>・公園等愛護活動では、公園数等19箇所、12団体の協力を得られ、花いっぱい運動では、11団体の協力を得て、地域の公園等の環境美化や、美しいまちづくりの推進を図ることができました。</li> <li>・資材等支給事業に2件の申請があり、農道整備等の環境改善を図ることができました。</li> </ul> <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会(37団体)に自治振興助成金を交付しました。</li> <li>・各自治組織代表者に行政協力を依頼し、自治会と行政のパイプ役として活動していただくことができました。</li> <li>・各地域に地域担当員を配置し、定期回覧の実施や要望などを聞き担当課との調整を行うなど、より住民と行政の緊密な関係を築くことに努めました。</li> </ul> <p>4</p> <p>140万円の補助金を交付し、運営を支援しました。</p> <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県男女共同参画地域推進事業(北総地域)への参加、運営協力をしました。</li> <li>・入庁5年以内職員を対象に、災害時の男女協働参画における視点に立った研修を行いました。</li> <li>・男女共同参画社会の実現を目指し、町人権教育セミナーとの共催で、2月に講演会を開催しました。</li> </ul>
---	--

<p>9 地区集会所等への補助 各地区の集会所等に対して管理費、修繕費、増改築費、建設費等について助成します。</p> <p>10 各課業務の推進及び支援 多様化する住民ニーズ、高度・複雑化する行政課題に対して、限られた人員・予算を最大限活用し行政サービスを提供するため、行政経験が豊富な暫定再任用職員による応援体制を組んで、担当する職員と暫定再任用職員が協働で業務に取り組み、各課の業務の効率化等の推進を図ります。</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区集会所等の老朽化等による修繕費の補助を行いました。</li> <li>・中川青年館建替えにおける建設費の補助と建替による施設内備品の整備にあたり、自治総合センターによる一般コミュニティ助成事業を活用した支援を行いました。</li> <li>・担当課と協働で取り組み、業務の効率化を推進することができました。</li> <li>・令和6年度実績として、各課からの業務依頼件数は294件、業務従事人員延べ732人の応援体制を組んで支援を行いました。</li> </ul>
--	-------------------	---